

愛知学院大学 SDGs 取組み宣言

愛知学院大学は、全力をあげて SDGs に取り組んでいくことを宣言いたします。SDGs とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称です。2015 年 9 月の国連サミットにおいて採択されたもので、世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する 17 の持続可能な開発目標と 169 のターゲットが設定され、いずれも 2030 年までの達成を目指すものです。二酸化炭素の排出、経済のグローバル化、世界人口の急激な増加は、地球温暖化の進行や異常気象の常態化を招き、貧困や格差の問題を顕在化させ、人口に見合う十分な食料や水の確保が困難な局面を迎えています。「誰一人取り残さない」ための将来の目標を設定することこそ SDGs に他なりません。

愛知学院大学は明治 9 年（1876）に、名古屋市中区門前町に、曹洞宗専門学支校として始まりました。大学としては昭和 28 年（1953）の開学になります。本学は禅を主とする曹洞宗によって創設された仏教系の大学です。建学の精神は「行学一体 報恩感謝」です。本学は知識・技術の習得という学びと、人格と教養の高揚に努めるという行とを一体とし、周囲への感謝を忘れず、共により良い社会の実現に尽力できる「総合的な人間教育」に取り組んでいます。大乘仏教の指導者とも言うべき菩薩の誓いに「四弘誓願」があります。その第一にくるのが「衆生無辺誓願度」、つまり無数のいきとし生けるものすべてを救済することを誓う、というものです。私たちは自身を取り巻く全てに感謝し、あらゆる生命を救うために、学びと行動をとおして豊かな人間性を磨いていかなければなりません。愛知学院大学は教職員・学生一丸となって「あらゆるいのちの尊さを守り、誰一人取り残さない」ための活動を行ってまいります。

2019 年、愛知県は「SDGs 未来都市」として選定されました。選定理由は、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現する可能性が高い都市、地域だからとされています。本学も産業界・官公庁・他大学と協働して、どうすれば環境に負荷をかけることなく、全ての人が活躍しながら、産業の革新・創造を実現していくかを、授業の中で、あるいは課外活動で積極的に考え、取り組んでいきます。

令和 3 年 4 月 1 日
愛知学院大学
愛知学院大学短期大学部
学長 引田 弘道